



市民や子供たちによってつくられていくトンボ池



お年寄りから子供たちに地域の遊びを伝承



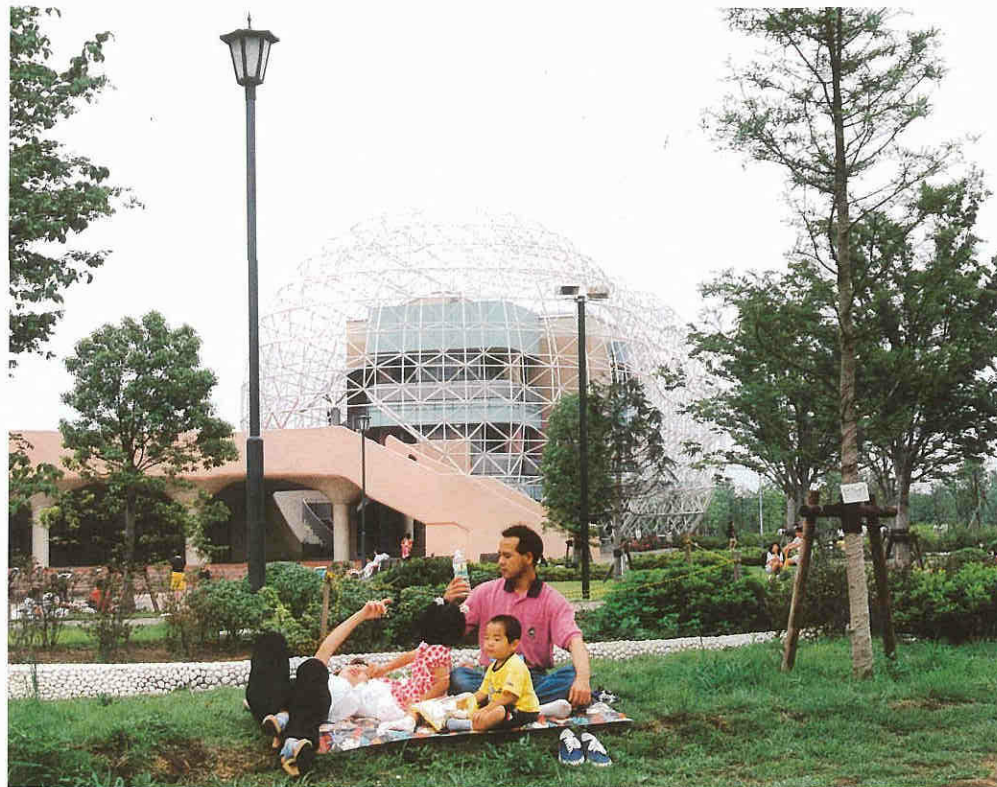
トンボ池に入って水中の生き物を観察する子供たち

DATA・BOARD ⑥

- ①群馬県伊勢崎市馬見塚町1808-1
- ②面積：42,000㎡、まゆドーム延床面積：1,020.63㎡
- ③JR両毛線伊勢崎駅またはJR高崎線本庄駅からバスで馬見塚十字路下車・徒歩10分、関越自動車道高崎ICから車で約30分
- ④華蔵寺公園
- ⑤ネイチャーゲーム、草木染、とんぼ池の生き物さがし、こま回し大会、子供のもりのキャンプ、子供のもりの音楽会、まゆ玉工作



6 子供のもり公園伊勢崎



伊勢崎市は、都市化の進展が著しく、快適で潤いのある市民生活を実現していくために、水や緑とのふれあいの場の創出を重要な課題としており、緑のマスタープランでも、市南部地域への公園整備の必要性が示されていた。「子供のもり公園 伊勢崎」の整備にあたっては、単なる公園整備だけではなく、施設を利用した様々な事業展開が可能になるとともに、子供たちが自然環境に興味を持てるように生態学習のできる区域を設けたり、地域のランドマークとなるように学習館まゆドームを中心施設として設置した。

園内は、まゆドームを中心に、風の丘、伝承広場、ピオトープと森のせせらぎが設けられたカビタリの森などが配置されている。植栽する樹木は、間引きなどで不要になったものや市民から寄付を受けたものなどを中心に利用したほか、風力発電機でモニユメントや噴水を動かしている。また、花壇や池などは、初めから用意するのではなく、市民や子供たちの活動により、公園整備が進んでいく方式としている。

開園後は、子供たちの自然観察やリサイクル教室などの体験学習、地域のお年寄りとの交流活動など、多彩な行事が展開されている。